

幸田のいちご



はじめに

幸田のいちご組合は現在とちおとめと紅ほっぺの2品種を栽培しています。

○ どんな品種をつくっているの？

とちおとめ・・・ 円錐形で艶のある大きな果実が魅力であり、糖酸比が高く食味が良いのが特徴です。

紅ほっぺ・・・ 果実は大大きく表皮は鮮烈な紅色で光沢があり、果肉はジューシーで味の濃い甘さをもっています。

○ 産地の特徴

昭和16年に4名の農家により栽培されたのが始まりです。昭和38年には159名の生産者により幸田町いちご部会が結成され、その後夜冷育苗の導入により促成栽培による早い出荷が可能となりました。